

2月議会本会議(3月10日) 請願討論 岡田ゆき子議員



原発再稼働に反対する意見書提出に関する請願

世論調査でも「原発再稼働反対」が多数。悲劇を繰り返えさせてはならない

3月10日の本会議で「原発再稼働に反対する意見書提出に関する請願」について採決が行われ、岡田議員が採択を求めて討論を行ないました。

12万人もの人々が避難生活

明日で、福島第一原発事故から4年です。福島ではいまだに12万人もの人々が避難生活を余儀なくされ、長引く避難による福島県内の「震災関連死」は1800人にとり、大震災の直接死1603人を大きく上回る、深刻な事態となっています。

収束の目途は全くなし

福島原発では漏れ出す汚染水を食い止めるどころか、新たな、放射能汚染水の外洋への流出が明らかとなりました。事故収束の目途など全く立っていないにもかかわらず、政府は鹿児島・川内原発、福井・高浜原発の再稼働を進めようとしています。原子力規制委員会は、両原発を「新規規制基準」に適合しているとする「審査書」を決定しましたが、火山の巨大噴火や活断層の問題、原発の集中立地の問題などとともに検討さ

れていません。また、避難計画はずさんで実効性がなく、住民の生命を守ることはできません。

世論調査も原発再稼働反対

福島原発事故後、全国の原発は相次ぎ停止し、「稼働ゼロ」の状態が既に一年半続いています。どの世論調査でも「原発再稼働反対」が多数を占め、原発ゼロは確固たる民意です。

悲劇を繰り返えさせない

請願者の趣旨にあるように、原発事故によって、故郷を離れ、生活基盤を失い、被ばくによる子どもへの健康不安を抱えて、生きていかななくてはならない人をこれ以上増やさないでほしいとの思いを受け止め、二度と同じ悲劇を繰り返えさせないために、国に対し、原発再稼働に反対する意見書を提出すべきです。請願への賛同を求めて、討論を終わります。

自公民新の多数で不採択に

採決の結果、減税も採択に賛成しましたが、自公民や維新などの多数で不採択になりました。

2月議会開会中請願審査(3月9日)

54請願がまたまた保留。審議未了廃案に

3月9日の委員会では、予算案の意思決定に続き、2月議会で煽るされた請願2件(共産党が紹介)、陳情3件と今までの委員会審議で保留(継続審査)とされたすべての請願が審査されました。審査の結果、54件の

請願が引き続き保留となり、廃案となりました。日本共産党は今回の委員会で採決すべきと強く求めましたが、請願に対する態度をが明らかにしないまま保留となってしまいました。

2月議会で受理された新規請願の結果(3月9日)

請願名(請願者)	請願項目	共	自	公	民	減	諸派	結果
国民健康保険制度及び高齢者医療制度の改善を求める請願(名古屋の国保と高齢者医療をよくする市民の会)	1 国民健康保険料を大幅に引き下げる						慎重に審査する	保留
	2 減免該当全世帯を自動的に減免する							
	3 資格証明書・短期保険証の発行、差し押さえをやめる	○	●	●	●	●	●	不採択
	4 70歳~74歳の医療費は市独自に1割負担を継続する							慎重に審査する
子供と親が安心できる少人数学級の実現を求める請願(北区住民)	1 小中高の全学年に正規教員配置で少人数学級を						慎重に審査する	保留
	2 特別支援学校をふやす							

○=賛成 ●=反対 共:日本共産党 自:自民党 減:減税日本ナゴヤ 公:公明党 民:民主党 諸派:14党派18人(民政クラブ、生活の党と名古屋のなかまたち、名古屋維新の会、名古屋市民クラブ、市民クラブ、北無所属の会、市民主権クラブ、創名会、中川・市民の会、地方法権改革会、無所属クラブ、ナゴヤの会、民和会、政和クラブ)